

青森県高校野球

工大一と光星 激突

きょう、あす準々決勝

夏季青森県高校野球大会は23日から、青森市ダイシンホールスタジアム(青森市宮)を舞台に終盤戦に突入する。これまでに3回戦が終了し、出場55チームのうち、勝ち残っているのは8チーム。23、24日に準々決勝、26日に準決勝、28日に決勝を行い、今夏の県ナンパーワンが決まる。準々決勝に名乗りを上げ

たのは、青森山田、弘前東、東義、工大一、弘学聖愛の昨秋の県大会準々決勝進出校5校と、同大会初戦敗退だった八学光星、弘前工、弘前実ほ、地区予選敗退だった昨秋から躍進を果たした。八戸地区の勝ち残り2チームは23日、ベスト4を懸けて激突する。試合前日の22日は両校ナインが各校の野球場で調整した。工大一は約3時間、ノックや実戦形式の打撃練習に汗を流した。ナインは守備練習で軽快な動きを見せ、

好調をアピール。最速142キロ腕の黒田将矢(2年)は「登板したら、しっかりとコースを突いて抑えたい」と意気込んだ。一方、八学光星は約2時間、工大一投手陣を想定した近距離での打撃練習などに取り組んだ。3回戦で4番を務めた大橋匠吾は「狙い球をチームで徹底している。一発で仕留める勝負強さを発揮したい」と気合十分だった。23日は弘前工・弘前東(10・00)、八学光星・工大一(13・00)を行う。(上村公悟、林泰輔)

鍵は継投のタイミング

準々決勝見どころ

▽23日第2試合(13時)

八学光星―工大一

八戸地区の私学2強が激突。今大会は共に継投で勝ち上がったっており、タイミングが鍵となりそうだ。

工大一は主戦右腕赤石京大、左腕渡辺凌晴、長身右腕黒田将矢らの継投で、強力打線に挑む。打線は中軸の杉山創太郎、工藤大雅、澤口仁音に力がある。八学光星は3試合4本塁打と

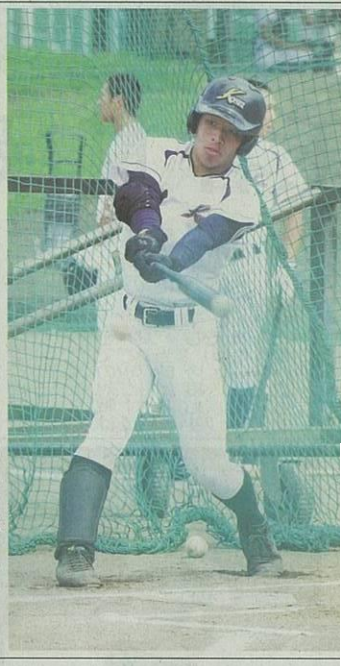
きょうの試合

▽準々決勝

【タイムシフト】

弘前工―弘前東(10・00)
八学光星―工大一(13・00)

高校野球速報



準々決勝に向けて打撃練習に励む八学光星ナイン。22日、同校グラウンド